

令和 7 年第 3 回

湧別町議会臨時会会議録

湧別町議会

令和 7 年第 3 回湧別町議会臨時会

令和 7 年 8 月 4 日湧別町議会議場に招集された。

1 応招議員は次のとおりである。

1 番 関 野 一 良	2 番 高 田 映 二	3 番 加 藤 政 弘
4 番 村 川 勝 彦	5 番 下 田 英 人	6 番 酒 井 純 一
8 番 小 形 秀 和	9 番 檜 山 洋 一	10 番 脇 坂 敏 夫
11 番 村 田 一 志		

2 不応招議員

なし。

3 出席議員は次のとおりである。

1 番 関 野 一 良	2 番 高 田 映 二	3 番 加 藤 政 弘
4 番 村 川 勝 彦	5 番 下 田 英 人	6 番 酒 井 純 一
8 番 小 形 秀 和	9 番 檜 山 洋 一	10 番 脇 坂 敏 夫
11 番 村 田 一 志		

4 欠席議員

なし。

5 地方自治法第 121 条の規定により議案の説明のため出席を求めた者及び説明の委任を受けて本会議に出席する者は、次のとおりである。

町長 刈田智之、副町長 因洋史、総務課長 坂本雄仁、総務課参事 中川友広、企画財政課長 井上道也、企画財政課未来づくり担当課長 斉藤健悟、住民税務課長 岩瀬昌幸、農政課長 宮本則幸、農政課参事 山川渉、商工観光課長 大口貢、建設課長 北林孝之、建設課参事 細川聡、会計管理者 松下一彦、出納課長 松下一彦、水道課長 出口幹敏、水道課参事 細川聡、福祉課長 前野和憲、健康こども課長 大塚幸夫、健康こども課児童支援担当課長 牧村宣幸、水産林務課長 青山賢治、総務課総務グループ主幹 穴戸和幸、企画財政課財政グループ主幹 佐藤誠一、企画財政課財政グループ主査 峯田実、教育委員会教育長 阿部勉、教育総務課長 佐藤美貴、教育総務課参事 綾部雅一、教育総務課給食センター所長 根子敏男、社会教育課長 西海谷巧、社会教育課参事 中島一之、教育総務課教育管理グループ主幹 大西久践、教育総務課学校教育グループ主幹 大西久践、社会教育課社会教育グループ主幹 藤本祐司、社会教育課図書館長 中島一之、社会教育課ふるさと館 J R Y 館長 中島一之、農業委員会会長 吉村智之、

農業委員会事務局長 吉松智弘、代表監査委員 水野豊、監査委員事務局長 近藤康弘、監査委員事務局次長 藪悟志、選挙管理委員会委員長 森谷重俊

6 本会議の書記は、次のとおりである。

議会事務局長 近藤康弘、事務局次長 藪悟志

会 議 に 付 し た 事 件

別 紙 日 程 表 に 記 載 の と お り

令和 7 年第 3 回湧別町議会臨時会

議事日程（第 1 日）

令和 7 年 8 月 4 日

日程第	1	会議録署名議員の指名
日程第	2	会期の決定
日程第	3	諸般の報告
日程第	4	行政報告
日程第	5	議案第 1 号 令和 7 年度一般会計補正予算について

開 会 宣 告（１０：００）

○議 長 ただいまの出席議員は10名でございます。

これより令和７年第３回湧別町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

議事日程でございますが、皆様のお手元に配付してあります日程により会議を進めたいと思いますので、よろしくご協力お願いいたします。

日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、６番酒井君、８番小形君を指名いたします。

日程第２、会期の決定を議題といたします。

会議に先立ち議会運営委員会が開催されておりますので、議会運営委員長よりその結果の報告をお願いします。

６番、酒井君。

（議会運営委員長結果報告）

○議 長 議会運営委員長の報告のとおり、会期は本日１日間とすることにご異議ありませんか。

○全 員 （異 議 な し）

○議 長 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日１日間とすることに決定いたしました。

日程第３、これから諸般の報告をいたします。

事務局長をして報告いたさせます。

局長。

○議会事務局長 諸般の報告を申し上げます。

今臨時会に提出されております案件は、町長提出といたしまして、予算１件であります。

次に、議案等説明員の関係であります。今臨時会に議案等説明のため出席を求めた執行者と執行者の委任を受けて出席する職員は、お手元に配布してあります報告書のとおりであります。

次に、監査委員から６月分の例月出納検査について異常がない旨、議長に報告書が提出されております。

次に、去る６月17日の令和７年第２回町議会定例会終了後から、本日までの議会及び委員会活動等についてご報告いたします。

６月22日、北見市において、自由民主党北海道第12選挙区支部政経セミナーが開催され、これに議長が出席いたしております。

６月23日及び24日、札幌市において、遠軽地区総合開発期成会要望活動が行われ、これに議長が出席しております。

6月26日、遠軽町において、遠軽地区広域組合議会臨時会が開催され、これに議長及び関係議員が出席いたしております。

同日、上湧別コミュニティセンターにおいて、ニュージーランド・セルウィン町訪問団との対面式が行われ、これに議長が出席いたしております。

6月27日、湧別図書館前及び文化センターさざ波において、ニュージーランド・セルウィン町訪問団との記念植樹会及び歓迎夕食会が行われ、これに議長が出席いたしております。

7月4日、レイクパレスにおいて、レバンガ北海道関野剛平選手来町歓迎会が行われ、これに議長が出席いたしております。

7月6日、かみゆうべつチューリップ公園駐車場において、第67回遠軽分会連合消防演習が開催され、これに議長及び関係議員が出席いたしております。

7月7日、北見市において、オホーツク圏活性化期成会農林水産専門委員会が開催され、これに議長が出席いたしております。

7月8日、札幌市において、北海道町村議会議長会議員研修会が開催され、これに副議長及び各議員が出席しております。

同日、福島において、オホーツク湧別バイオガス株式会社バイオガスプラント竣工式が挙行され、これに議長及び産業文教常任委員会正副委員長が出席いたしております。

同日、文化センターさざ波において、カナダ・ホワイトコート町訪問団との歓迎夕食会が行われ、これに議長が出席いたしております。

7月14日、北見市において、オホーツク圏活性化期成会第2回役員会が開催され、これに議長が出席いたしております。

7月19日、中湧別総合体育館において、認定こども園みのり運動会が開催され、これに議長及び各議員が出席しております。

7月24日、文化センターTOMにおいて、元湧別町議会議長渡邊正利氏湧別町名誉町民章贈呈式が挙行され、これに議長及び各議員が出席いたしております。

7月26日、ふるさと館JRYにおいて、遠紋地区市町村議会議長会議員研修会が開催され、これに議長及び各議員が出席いたしております。

7月30日及び31日、東京都において、高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会中央要望活動及びオホーツク圏活性化期成会中央要望活動が行われ、これに議長が出席いたしております。

7月30日、議会広報編集特別委員会が開催されました。

8月4日、議会運営委員会が開催されました。

以上で、諸般の報告を終わります。

○議長　これで諸般の報告を終わります。

日程第４、町長の行政報告を行います。

町長。

○町長 前回の議会以降における行政上の諸課題について報告申し上げます。

まず１点目ですが、町公用車による交通事故についてであります。

去る６月５日、午前１０時４０分頃、湧別町開盛において、職員が町公用車で町民宅を訪問しバックで駐車しようとして道路上に停車していた所、道路向いの住宅からバックで出てきた相手車両が、町公用車の左後部に衝突する事故がありました。

また、６月２４日の午後３時４５分頃には、湧別町北兵村二区の東町２線道路と東９号線道路交差点において、職員が町公用車を運転していたところ、東９号線道路から走行してきた車両が一時停止の標識を無視して交差点に進入し、町公用車と衝突する事故がありました。

今回の事故については、いずれも相手車両運転者の不注意が原因ではありますが、車両を運転する際には、様々なケースで事故に遭遇する可能性があることから、当該職員に対しまして、改めて安全運転を心がけ、交通安全に留意するよう注意を行ったところであります。

また、いずれの事故につきましても、幸い、相手車両の運転者及び職員ともに怪我はありませんでしたが、車両の損傷が生じているところでありますので、修繕等の対応につきましても、町が加入しております保険にて行うよう事務を進めさせていただいております。

職員には日頃から、交通事故には十分注意するよう指導しておりますが、度重なる事故に対し、改めて公用車、私用車問わず安全運転を心がけるよう周知徹底したところであります。

２点目ですが、ニュージーランド・セルウィン町友好都市提携２５周年記念訪問団の来町及びカナダ・ホワイトコート町訪問団の受け入れについてであります。

ニュージーランド・セルウィン町とは、１９９１年の旧湧別町時代に人づくりセンター委員のニュージーランド訪問を機に、町民海外派遣の研修先に定め、これまでに多くの中高校生や一般町民がセルウィン町を訪問しており、このことが実を結び、２０００年７月に友好都市の提携を結んでおります。

提携から、本年で２５年という節目の年を迎えることから、２５周年を記念し、６月２６日から３泊４日の日程で、セルウィン町姉妹都市交流委員会の委員長であるアリソン・ロザノフスキーさんをはじめ、訪問団５名の方々が来町されました。訪問団の中には２０数年ぶりに湧別町に来られた方もおり、町内にホームステイをしながら、湧別町を懐かしんでおりました。

6月27日、湧別図書館前において、提携25周年記念植樹会を開催し、訪問団の方々をはじめ、ホストファミリーや村田議長にもご参加をいただきました。

植樹会の前段で、湧別町とセルウィン町との友好都市提携にあたり、ご尽力をいただきましたセルウィン町のマクビティ元町長、ジャッド元議長、湧別町の加藤元町長、長谷川元議長に敬意と追悼の意を表し、黙とうを行い、その後、いつまでも両町の友好関係が続くことを願い、ライラックの植栽を行ったところであります。

その日の夜には、文化センターさざ波において、ホストファミリーを交えて歓迎夕食会を開催し、私からは25周年を記念し訪問されたセルウィン町の方々に感謝と御礼を申し上げたところであります。

夕食会の最後には、25周年を記念した盾を訪問団の団長であるアリソンさんに贈呈し、セルウィン町からも記念品をいただいたところであります。

離町日となる6月29日には、芭露にてサロマ湖100kmウルトラマラソンのランナーを応援し、帰路についたところであります。

今回の訪問団の来町を通じて、25周年という節目を祝う形で友好の絆の強さを改めて確認することができました。

次に、カナダ・ホワイトコート町訪問団の受け入れについてご報告いたします。

7月3日から9日までの7日間、カナダ・ホワイトコート町より中高生5名、一般3名の計8名の訪問団が来町し本町に滞在されました。

ホワイトコート町訪問団の来町は7年振りであり、滞在中、中高生は湧別高校や上湧別学園を訪問し、生徒と一緒に授業を受けるなど、日本の学校生活を体験したほか、湧別高校の学校祭にも参加させていただき、カナダではできない経験ができた大変喜んでおりました。

また、座禅やフラワーアレンジメント、太鼓などの日本文化を体験していただき、一般の方には、この他にもお琴や尺八、日本料理の体験、町内施設の視察もしていただきました。

ホームステイをとおして日本の家庭生活を体験し、ホストファミリーとの交流も楽しんでいただけたものと思っております。

今後も、人と人とのつながりを大切にしながら、セルウィン町及びホワイトコート町が共に発展し、友好の輪がより一層広がっていくことを願っております。

今回の訪問に関わり、ホームステイや視察・体験などをお受けいただいた方々、また色々とお世話をしていただいた国際交流推進委員や関係者の皆さま方に対し、心よりお礼と感謝を申し上げます。

3点目は第40回サロマ湖100kmウルトラマラソンについてであります。

今年で40回目を迎えました「サロマ湖100k mウルトラマラソン」が6月29日に開催され、100k mの部において過去最多となる3,343人が出場し、湧別屋内ゲートボール場前をスタートしました。

スタート時の気温は17度でしたが、その後は強い日差しの影響により最高気温が30度を超える過酷な暑さが続く中、選手たちは沿道の声援や給水所でのボランティアからの温かい支援を受けながら、北見市常呂町のゴールを目指し、1,952人がゴールを果たしました。

100k mの部の完走率は、暑さの影響もあり前回の58.8%を0.4ポイント下回る58.4%と過去5番目に低い完走率となりましたが、選手たちは自らの限界と戦いながらゴールを目指して一生懸命走っていました。

50k mの部においても過去最多となる515人が佐呂間町100年広場前を午前10時にスタートし、396人がゴールを果たしました。50k mの部の完走率は、前回の80.4%を3.5ポイント下回る76.9%となりました。

湧別町からは、100k mの部に7人が出場し、3人が完走、50k mの部には10人が出場し、9人が完走しております。

幸い、今年も大きな事故もなく無事大会を終えることができました。これも大会にご協力をいただきました地元ボランティアをはじめ湧別高校やゆうべつ学園、各関係者の皆様の温かいご理解・ご支援によるものであり、心より感謝を申し上げます。

本大会は、日本初のウルトラマラソンとして、昭和61年のプレ大会に58人が参加して開催されてから、今年で40回目を迎えることができ、今では全国各地から4,000人を超えるウルトラランナーたちがエントリーする、日本最大級のウルトラマラソン大会に成長しました。

今後におきましても、さらに魅力ある大会となるよう、共同開催者の北見市、佐呂間町、北海道陸上競技協会等と協力しながら開催していきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4点目は、湧別マリナーズの全国大会出場についてであります。

去る6月28日から30日に稚内市において、高円宮賜杯第45回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント北北海道大会が開催され、昨年に続いた出場となった湧別マリナーズは、粘り強い戦いぶりで勝ち進み、決勝戦では留萌支部代表の留萌JBCと対戦し、延長7回タイブレークの末、2対0で競り勝ち15年ぶり2度目の優勝を果たし全国大会への出場を決めました。

この大会は「小学生の甲子園」と呼ばれる全国の学童軟式野球チームにとって最高峰の舞台であり、全国大会は8月11日から新潟県で開催されます。

なお、全国大会への出場にあたっては、スポーツ文化遠征費補助金交付要綱

に基づき補助金の交付を予定しておりますが、本議会に補正予算として提案をさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

この大会に参加した湧別マリナーズの選手は、16名と少数精鋭のチームではありますが、抜群のチームワークで北北海道大会を制し、全国大会への出場権を得たことは、子どもたちにとっても大きな自信と喜びに繋がったことは勿論でありますし、町民にとっても大きな喜びであります。

現在、湧別マリナーズは前回の全国大会で果たすことができなかった初戦突破を目指しながら、毎日練習に励んでおりますので、皆様の心温まるご声援をよろしくお願い申し上げます。

5点目は、住民訴訟についてであります。

町内に居住する方より提訴されております訴訟の状況についてご報告申し上げます。

原告の方が取得した非木造家屋について、平成17年度から令和6年度まで町に納付した固定資産税に過納付があるとして、損害賠償金として39万2,800円の支払いを求められた損害賠償請求事件であります。

6月30日に釧路地方裁判所北見支部で判決が言い渡されました。

判決主文は、「原告の請求を棄却する。訴訟費用は原告の負担とする。」でありました。

固定資産の評価にあたっては、国や北海道からの通知又は指示に基づいて適正に処理しており、固定資産税の過納付はないとした当方の主張が全面的に認められた結果となりましたが、原告はこの判決結果を不服として、7月9日付で控訴手続きを行った旨、当方代理人である弁護士から連絡がございました。

原告が裁判所に提出した控訴状並びに控訴理由書については、その写しがまだ担当弁護士より届いておりませんので、控訴理由等の詳細は不明ではありますが、一審と同様に代理人である担当弁護士としっかり打合せを行いながら、取り進めて参りたいと考えております。

6点目は、名誉町民章贈呈式の挙行についてであります。

本年3月に開催された第1回議会定例会におきまして同意議決をいただき、湧別町名誉町民の称号を贈ることに決定した渡邊正利様に対しまして、去る7月24日に、文化センターTOMにおきまして名誉町民章贈呈式を挙行いたしました。

贈呈式には、村田議長をはじめ議会議員各位、石田前町長や産業団体長などのご臨席をいただくなか、私より記念章と称号記の楯を贈呈させていただきました。

渡邊正利様は、昭和58年に上湧別町議会議員となり、平成7年5月から14年4か月にわたり上湧別町議会議長を務められ、新湧別町誕生後は、平成21年11

月から4年間、湧別町議会議長を務められました。

改めまして、渡邊様のこれまでの地方自治振興や住民福祉の向上など、本町の発展に寄与された功績に深く感謝を申し上げるものであります。

7点目は、津波注意報の発表についてであります。

7月30日午前8時25分頃、ロシアのカムチャツカ半島付近を震源とするマグニチュード8.7の巨大地震が発生したため、気象庁は北海道から和歌山県にかけての太平洋沿岸に津波警報を発表しました。

本町を含むオホーツク海沿岸には津波注意報が発表されたため、第1非常配備体制をとり、屋外防災スピーカーや防災メール、防災LINEでの広報のほか、津波警報及び避難指示に備えて避難所開設の事前準備をしておりましたが、31日午前10時45分に津波注意報は解除となり、本町での被害は確認されませんでした。

なお、30日午後8時30分頃に、津波警報発表に備えて職員向けにテストをしていた際に、避難指示の情報を防災LINE登録者1,458人に誤送信するミスがありました。深くお詫びいたしますとともに、今後このようなことのないよう十分注意してまいります。

8点目は、北海道関係工事の発注状況についてであります。

1、工事名、芭露川大規模特定河川改修工事、工事場所、芭露、請負金額、2億2,177万円、請負業者、㈱管野組（遠軽町）、規模、掘削工・築堤工・護岸橋梁上部工（芭露8号橋）、工期、令和8年3月23日。

2点目は工事名、芭露川大規模特定河川改修工事、工事場所、芭露、請負金額、1億130万円、請負業者、松谷建設株式会社（北見市）、規模、掘削工・築堤工・護岸橋梁床版工・舗装工（芭露4号橋）、工期、令和8年3月23日であります。

9点目は、町関係工事の発注状況についてであります。

1点目が工事名、チューリップ公園排水整備工事、工事場所、上湧別屯田市街地、請負金額、1,716万円、請負業者、沢口産業株式会社、規模、暗渠整備・除礫一式、工期、令和7年9月30日。

2点目が工事名、公営住宅新築工事（緑町団地）、工事場所、緑町、請負金額、9,636万円、請負業者、株式会社長谷川建設、規模、木造平屋建新築1棟3戸、工期、令和7年12月20日。

3点目が工事名、町道補修工事（防塵舗装）、工事場所、町内、請負金額、1,650万円、請負業者、遠軽舗道株式会社、規模、防塵舗装延長9,610メートル、工期、令和7年9月30日。

4点目が業務名、町道側溝清掃業務委託、業務場所、町内、請負金額、1,958万円、請負業者、湧別小型運送株式会社、規模、管渠清掃工延長3,680メートル、

工期、令和7年9月30日。

5点目が工事名、厨房機器設置工事（学生寮）、工事場所、中湧別中町、請負金額、1,650万円、請負業者、有限会社吉田設備工業、規模、厨房機器設置、工期、令和7年10月31日。

6点目が工事名、町道簡易舗装工事（東5号線道路）、工事場所、東、請負金額、4,532万円、請負業者、遠軽舗道株式会社、規模、路上路盤再生延長475メートル、工期、令和7年11月20日。

7点目が業務名、分譲宅地測量設計業務委託、業務場所、錦町、請負金額、2,392万5千円、請負業者、株式会社中神土木設計事務所（北見市）、規模、分譲宅地設計業務、工期、令和8年3月30日。

以上で、行政報告とさせていただきます。

○議長 これでは行政報告は終わりました。

日程第5、議案第1号を議題といたします。

事務局長をして議案の朗読をいたさせます。

局長。

○議会事務局長 議案第1号、令和7年度湧別町一般会計補正予算。

○議長 提案者の説明を求めます。

企画財政課長。

（企画財政課長提案理由説明）

○議長 これから質疑を行います。

4番、村川君。

○4番 全国大会ということで大変湧別町の名誉のことでうれしいことではございます。がんばってこの暑い中ではございますけれども、がんばっていい結果がでることを願っているところであります。

その中でこの440万円の経費の予算はいいと思うのですが、この内訳で選手は何名、それから付き添い者というのか監督とかが何名なのかを説明いただきたいと思います。

○議長 社会教育課長。

○社会教育課長 ただいまの村川議員からのご質問にお答えしたいと思います。

まず、付き添いと言われます部分につきましては、大人は4名ということで内訳につきましては、監督が1名、コーチが2名、代表者1名の合わせて4名ではございます。続きまして選手につきましては、3義務教育学校合わせまして、16名となっております。以上でございます。

○議長 ほかに質疑ありませんか。

○全員 （なし）

○議長 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

○全員 (なし)

○議長 討論がございませんので、本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

○全員 (異議なし)

○議長 異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり決定いたしました。

これで本日の日程は全部終了いたしました。

会議を閉じます。

令和7年第3回湧別町議会臨時会を閉会いたします。

閉 会 宣 告 (1 0 : 3 0)

この会議録は書記をして記録されたものであり、この内容が真実であることを証するため、ここに署名する。

湧別町議会 議長 村田一志

湧別町議会 議員 西井純一

湧別町議会 議員 小形香和